

町内の会社 紹介します

株式会社 佐藤薬学研究所
所在地 谷 中
代表取締役社長 佐藤治男氏

株式会社佐藤薬学研究所は、医療用の肝臓薬や制癌剤などを製造している会社です。

薬は病院などで使われる医療用と、薬局等で販売される大衆薬があり、また、中身を製造する会社（原薬メーカー）と外側を作る（製剤メーカー）に分けられますが、佐藤薬学研究所は

医療用の原薬メーカーで、昭和四十七年、光町に千葉工場を建設されました。（本社は東京都世田谷区）

肝臓薬の原料は主に血液の中に含まれるポルフィリンという物質で、ヨーロッパから牛血の蛋白質を除いた状態のものを輸入し、独自の技術によりポルフィリンを抽出し、肝臓薬が作られます。一方制癌剤は植物の葉から作られ、原料は中国、台湾、タイ、インドネシアなどの東南アジア方面から輸入されます。ここで製造された原薬は、製剤メーカーに送られ、皆さんが病院へ行かれた時に受け取る薬となります。

日本では十年ほど前まで、原薬のほとんどが海外から輸入されてきました。

れたものが用いられていましたが、この会社は昭和三十一年から原薬の開発研究及び製造販売をされてきました。現在も開発研究に力が入られ、医薬品分野はもちろん、ポルフィリンの持つ特質性から、未来のエレクトロニクス材料としても注目されてきたことから、エレクトロニクスの分野へも進出し、国内外の半導体、電子メーカー、化学メーカーからも注目を集めています。

佐藤社長は薬学博士で、東京本社と光町の千葉工場とを往復し、開発研究にあたることも会社運営をされています。

「この仕事は未来産業であり、厳しさはあるけれど、大変おもしろい」と語っていました。



▲ 佐藤薬学研究所

ごみの減量化に協力を

不燃ごみの量が急増しています。このままでいくと年度当初予定した処理費用より二千万円も多くかかってしまいます。酒ビンなどは酒屋さんへ、空缶はアルミ、鉄に区分して廃品回収に出すなど、燃えないゴミの減量化にご協力ください。

安全なブロック塀・石塀の建て方

1 塀の高さをあまり高くするのは避けましょう。のぞましい高さは、ブロック塀なら2.0m以下です。石塀なら1.2m以下にしてください。ブロック塀の場合もコンクリートブロックの厚さの10倍以下の高さにすれば一層安全です。

2 道路に面するブロック塀は厚さを12cm以上とするようにしましょう。特に軟弱な地盤のところでは道路に面するブロック塀は厚さを15cm以上にした方が安全です。

3 塀は建物から50cm以上離しましょう。接近すると控壁もとれませんが、地震で建物がゆれて塀を倒すことにもなります。

4 ブロック塀や石塀に鉄製のフェンスなどを取りつけると塀の安全性を害します。フェンスの取り付けにはそれなりの対策が必要です。

5 間知ブロック、石積みなどの土留め擁壁の上に塀をつくることは危険です。止むを得ずつく場合は下図のように十分に根入れをした基礎を別につくらなければなりません。

昨年十二月十七日の千葉県東方沖地震では、あちらこちらでブロック塀や石塀の崩れが見うけられました。ブロック塀や石塀を建てる時には、次のことに

注意しましょう。また、既に建ててある場合には、正しく造られているかどうか点検してみま

くずれてからでは
こまります！